

双葉町立新校（仮称） 建設工事

建 築 意 匠 図														
図番	名称	縮尺(A1)	図番	名称	縮尺(A1)	図番	名称	縮尺(A1)	図番	名称	縮尺(A1)	図番	名称	縮尺(A1)
A001	表紙・図面リスト	—	A013i	部分詳細図－9（階段詳細図2）	図示	A017af	展開図-32	1/50	A019r	家具詳細図-18	1/20	A029d	エレベーター詳細図-4	1/20
A002a	建築関係工事特記仕様書（共通事項）	—	A013j	部分詳細図－10（厨房機器詳細図）	1/75	A017ag	展開図-33	1/50	A019s	家具詳細図-19	1/20	A030	仮設計画図	1/800
A002b	建築工事特記仕様書－1	—	A014a	雑詳細図－1	図示	A017ah	展開図-34	1/50	A019t	家具詳細図-20	1/20	L001	外構平面図	1/500
A002c	建築工事特記仕様書－2	—	A014b	雑詳細図－2	図示	A017ai	展開図-35	1/50	A019u	家具詳細図-21	1/20	L002	現況図・撤去平面図	1/500
A002d	建築工事特記仕様書－3	—	A014c	雑詳細図－3	図示	A017aj	展開図-36	1/50	A019v	家具詳細図-22	1/20	L003	割付平面図	1/500
A002e	建築工事特記仕様書－4	—	A014d	雑詳細図－4	図示	A017ak	展開図-37	1/50	A019w	家具詳細図-23	1/20	L004	横断位置図	1/500
A002f	建築工事特記仕様書－5	—	A015a	平面詳細図－1	1/100	A017al	展開図-38	1/50	A019x	家具詳細図-24	1/20	L005	計画断面図-1	1/400
A002g	建築工事特記仕様書－6	—	A015b	平面詳細図－2	1/100	A017am	展開図-39	1/50	A019y	家具詳細図-25	1/20	L006	計画断面図-2	1/400
A002h	建築工事特記仕様書－7	—	A015c	平面詳細図－3	1/100	A017an	展開図-40	1/50	A019z	家具詳細図-26	1/20	L007	計画断面図-3	1/400
A002i	建築工事特記仕様書－8	—	A015d	平面詳細図－4	1/100	A017ao	展開図-41	1/50	A019aa	家具詳細図-27	1/20	L008	計画断面図-4	1/400
A002j	建築工事特記仕様書－9	—	A015e	平面詳細図－5	1/100	A017ap	展開図-42	1/50	A019ab	家具詳細図-28	1/20	L009	計画断面図-5	1/400
A003a	工事概要書 No.1	—	A015f	平面詳細図－6	1/100	A017aq	展開図-43	1/50	A019ac	家具詳細図-29	1/20	L010	造成平面図	1/500
A003b	工事概要書 No.2	—	A016a	展開図キープラン-1（1階 1/4）	1/200	A017ar	展開図-44	1/50	A019ad	家具詳細図-30	1/20	L011	施設・縁石平面図	1/500
A004	案内図・配置図	1/500	A016b	展開図キープラン-2（1階 2/4）	1/200	A017as	展開図-45	1/50	A019ae	家具詳細図-31	1/20	L012	舗装平面図	1/500
A005a	求積図・面積表-1(建築面積)	1/250	A016c	展開図キープラン-3（1階 3/4）	1/200	A017at	展開図-46	1/50	A019af	家具詳細図-32	1/20	L013	植栽平面図	1/500
A005b	求積図・面積表-2(床面積1)	1/100	A016d	展開図キープラン-4（1階 4/4）	1/200	A017au	展開図-47	1/50	A020a	建具キープラン-1	1/200	L014	植栽基盤平面図	1/500
A005c	求積図・面積表-3(床面積2)	1/100	A016e	展開図キープラン-5（2階）	1/200	A017av	展開図-48	1/50	A020b	建具キープラン-2	1/200	L015	雨水排水平面図	1/500
A005d	求積図・面積表-4(床面積3)	1/100	A017a	展開図-1	1/50	A017aw	展開図-49	1/50	A020c	建具キープラン-3	1/200	L016	可変勾配側溝縦断図-1	図示
A005e	求積図・面積表-5(床面積4)	1/100	A017b	展開図-2	1/50	A017ax	展開図-50	1/50	A021a	建具表-1（外部-WW・WG・ATD）	1/100	L017	可変勾配側溝縦断図-2	図示
A005f	求積図・面積表-6(床面積5)	1/100	A017c	展開図-3	1/50	A017ay	展開図-51	1/50	A021b	建具表-2（外部-AW1）	1/100	L018	可変勾配側溝縦断図-3	図示
A005g	求積図・面積表-7(床面積6)	1/100	A017d	展開図-4	1/50	A017az	展開図-52	1/50	A021c	建具表-3（外部-AW2）	1/100	L019	可変勾配側溝縦断図-4	図示
A005h	求積図・面積表-7(付帯施設)	1/150	A017e	展開図-5	1/50	A017ba	展開図-53	1/50	A021d	建具表-4（外部-AW3・PC・SW）	1/100	L020	可変勾配側溝縦断図-5	図示
A006	仕上凡例表	—	A017f	展開図-6	1/50	A017bb	展開図-54	1/50	A021e	建具表-5（外部-AWO・SD・MD・SWW）	1/100	L021	管渠縦断図-1	図示
A007a	仕上表-1	—	A017g	展開図-7	1/50	A017bc	展開図-55	1/50	A021f	建具表-6（内部-WD）	1/100	L022	管渠縦断図-2	図示
A007b	仕上表-2	—	A017h	展開図-8	1/50	A017bd	展開図-56	1/50	A021g	建具表-7（内部-WW・AW・SP）	1/100	L023	照明計画平面図	1/500
A008a	基礎平面図	1/200	A017i	展開図-9	1/50	A017be	展開図-57	1/50	A021h	建具表-8（内部-SD1）	1/100	L024	給水計画平面図	1/500
A008b	1階平面図	1/200	A017j	展開図-10	1/50	A017bf	展開図-58	1/50	A021i	建具表-9（内部-SD2・SLW）	1/100	L025	舗装・縁石詳細図-1	図示
A008c	2階平面図	1/200	A017k	展開図-11	1/50	A017bg	展開図-59	1/50	A021j	建具表-10（内部-特防）	1/100	L026	舗装・縁石詳細図-2	図示
A008d	R階平面図	1/200	A017l	展開図-12	1/50	A017bh	展開図-60	1/50	A021k	建具表-11（内部-LSD）	1/100	L027	階段詳細図-1	図示
A009a	立面図－1（外周面）	1/200	A017m	展開図-13	1/50	A017bi	展開図-61	1/50	A021l	建具表-12（内部-TB・ガラリリスト）	1/100	L028	階段詳細図-2	図示
A009b	立面図－2（中庭面）	1/200	A017n	展開図-14	1/50	A018	家具キープラン	1/300	A022a	断熱範囲図-1	1/300	L029	手すり詳細図	図示
A010a	断面図－1	1/200	A017o	展開図-15	1/50	A019a	家具詳細図-1	1/20	A022b	断熱範囲図-2	1/300	L030	雨水排水施設構造図	図示
A010b	断面図－2	1/200	A017p	展開図-16	1/50	A019b	家具詳細図-2	1/20	A022c	断熱範囲図-3	1/300	L031	擁壁詳細図	図示
A010c	断面図－3	1/200	A017q	展開図-17	1/50	A019c	家具詳細図-3	1/20	A023	防水範囲図	1/300	L032	RC塀詳細図-1	図示
A011a	断面詳細図－1	1/50	A017r	展開図-18	1/50	A019d	家具詳細図-4	1/20	A024a	ピット階排水平面図	1/200	L033	RC塀詳細図-2	図示
A011b	断面詳細図－2	1/50	A017s	展開図-19	1/50	A019e	家具詳細図-5	1/20	A024b	1階排水平面図	1/200	L034	RC塀詳細図-3	図示
A011c	断面詳細図－3	1/50	A017t	展開図-20	1/50	A019f	家具詳細図-6	1/20	A024c	2階排水平面図	1/200	L035	砂場詳細図	1/20
A011d	断面詳細図－4	1/50	A017u	展開図-21	1/50	A019g	家具詳細図-7	1/20	A024d	R階排水平面図	1/200	L036	ベンチ詳細図	1/20
A012a	天井伏図－1	1/200	A017v	展開図-22	1/50	A019h	家具詳細図-8	1/20	A025a	付帯施設A図-1	1/100	L037	ボラード・フラッグポール詳細図	図示
A012b	天井伏図－2	1/200	A017w	展開図-23	1/50	A019i	家具詳細図-9	1/20	A025b	付帯施設A図-2	1/50	L038	木製斜面遊具配置図	1/100
A013a	部分詳細図－1（体育器具詳細図1）	図示	A017x	展開図-24	1/50	A019j	家具詳細図-10	1/20	A026a	付帯施設B図-1	1/100	L039	遊具詳細図-1	図示
A013b	部分詳細図－2（体育器具詳細図2）	図示	A017y	展開図-25	1/50	A019k	家具詳細図-11	1/20	A026b	付帯施設B図-2	1/50	L040	遊具詳細図-2	図示
A013c	部分詳細図－3（体育器具詳細図3）	1/50	A017z	展開図-26	1/50	A019l	家具詳細図-12	1/20	A027a	付帯施設C図-1	1/100	L041	遊具詳細図-3	図示
A013d	部分詳細図－4（体育器具詳細図4）	1/50	A017aa	展開図-27	1/50	A019m	家具詳細図-13	1/20	A027b	付帯施設C図-2	1/50			
A013e	部分詳細図－5(体育器具詳細図5・遊具詳細図)	図示	A017ab	展開図-28	1/50	A019n	家具詳細図-14	1/20	A028	付帯施設D図	1/100			
A013f	部分詳細図－6（K-22段々本棚詳細図1）	1/100	A017ac	展開図-29	1/50	A019o	家具詳細図-15	1/20	A029a	エレベーター詳細図-1	1/50			
A013g	部分詳細図－7（K-22段々本棚詳細図2）	図示	A017ad	展開図-30	1/50	A019p	家具詳細図-16	1/20	A029b	エレベーター詳細図-2	1/20			
A013h	部分詳細図－8（階段詳細図1）	図示	A017ae	展開図-31	1/50	A019q	家具詳細図-17	1/20	A029c	エレベーター詳細図-3	1/20			

①

地業工事

1. 地業工事～4. 鉄骨工事は構造特記仕様書(S-1-06～S-1-10)による

1 支持地盤

・杭基礎
支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)
・ 図示による
・ ()

○直接基礎
支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)
・ 図示による
○ (構造特記仕様書(2)による)
長期設計支持力度
・ () kN/m2
○ (構造特記仕様書(2)による)

・地盤の載荷試験
・ 行う
試験の位置、方法等は図示による

(4.2.4)

2 既製コンクリート杭地業

種類
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料
・SKK400
・SKK490
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・ ()

試験掘
・あり
孔径はオーガー径とする
位置等は図示による
試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う
・なし

(4.3.3)

寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分)

		種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						

試験杭の施工
※ 本杭の施工に先立ち行う
・ ()
試験杭の位置、本数
※ 最初の一本
・ 図示による

(4.2.2)

杭先端部形状
・開放形
・半開放形
・閉そく形
・ ()

(4.3.3)

施工方法
・セメントミルク工法
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・1.5m程度
・ ()
杭の支持地盤への掘入れ深さ
・1.0m以上
・ ()
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下
・ ()
杭の傾斜
・1/100以内
・ ()
・ (4.3.3～5)

(4.3.4)

・特定埋込杭工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・ ()

工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で
 $\alpha=250$ を採用できる工法
・ 図示による
・上記以外の特定埋込杭工法
・ 図示による
杭周固定液
・使用する
・使用しない

杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下
・ ()
杭の傾斜
・1/100以内
・ ()

杭継手工法
・溶接継手
標仕
4.3.6による
溶接材料
・標仕
7.2.5(1)(2)による
・標仕
7.2.5(1)(2)以外()
・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法
※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
・ ()
検査
※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
・ ()
施工
※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による
・ ()

杭頭処理
※ [県:第2編 4.3.8]による
・ ()
杭頭補強用コンクリート型枠
※ 鋼製型枠
・ ()
杭頭補強
※ [県:第2編 図4.3.1～4.3.2]による
・ 図示による

寸法、継手、性能等

		種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						

1. 地業工事～4. 鉄骨工事は構造特記仕様書(S-1-06～S-1-10)による

3. 鋼杭地業

1

地業工事

試験杭
試験杭の位置、本数及び寸法
・ 図示による

(4.2.2)

杭の材料
・ 図示による

(4.4.3)

溶接材料
・標準仕様書7.2.5による

施工方法
・標準仕様書4.3.5による

杭の精度
・水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4以内かつ100mm以下
・杭の傾斜
・1/100以内
・評定条件又は設定条件による

(4.4.4)

杭の現場継手
・溶接継手
形状
・JIS A 5525による
溶接材料
・標仕 7.2.5(1)(2)による
溶接部の確認方法
・標仕 7.6.10による
抜き取り率
・全数
・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法
※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
検査
※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
施工
※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による

(4.4.5)

(4.4.3)(7.2.5)

杭頭の処理(切断方法)
・処理しない(切断しない)
・処理する
処理方法(切断及び補強方法)
・ 図示による

(4.4.6)

杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの

杭径、長さ、仕様等
・ 図示による
・ ()

材料その他
帯筋
鉄筋の最小かぶり厚さ
・ 図示による
セメントの種類
※ 高炉セメントB種
・ ()
コンクリートの種別
・A種
・B種
・審査(評定又は大臣認定)された内容による
コンクリートの設計基準強度 () N/mm2
スランプ
※ 21 cm
・ () cm
構造体強度補正値(S)
・3N/mm2
・審査(評定又は大臣認定)された内容による
・ ()

(4.5.4)

(6.3.1)

(4.5.4)

掘削工法
・アースドリル工法
安定液
・使用する
・使用しない
・リバース工法
・オールケーシング工法
孔内の水張り
・行う
・行わない

併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
図示による
鋼管巻き材料
・SKK400
・SKK490
・ ()
・ 図示による
安定液
・使用する
・使用しない
・ ()

試験杭
試験杭の施工
※ 本杭の施工に先立ち行う
・ ()
試験杭の位置、本数
※ 最初の一本
・ 図示による

(4.2.2)

(4.5.5～6)

孔壁測定
・行う
測定方法、測定箇所は図示による
・行わない

(4.5.5～6)

杭の精度
水平方向の位置ずれ
・100mm以下
・ ()
杭の傾斜
・1/200以内
・ ()

工法
・深層混合処理工法
機械攪拌方式とする
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力
・ () kN/m2
・ ()
・浅層混合処理工法
原位置混合方式とする
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力
・ () kN/m2
・ ()

(4.7.1～4)

(4.8.1～4)

形状、支持地盤、仕様
・ 図示による

長期設計支持力
・ () kN/m2
・ ()

セメントの種類
・高炉セメントB種
コンクリートの設計基準強度 () N/mm2
構造体強度補正値(S) () N/mm2

(6.3.1)

2

地業工事

1 液状化対策

7 砂利地業

9 捨てコンクリート

10 床下防湿層

1 鉄筋の種類

2 溶接金網

3 鉄筋の継手

4 鉄筋の定着の方法及び長さ

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)

6 特殊な鉄筋継手

工法
・ ()
仕様、範囲、計測、試験等
・ 図示による

材料
※ 再生クラッシュラン
・切込砂利及び切込砕石

(4.6.2)

厚さ、幅及び使用範囲

地業	幅(mm)	厚さ(mm)
割り石	フーチング各外面より+150	・150 ・ ()
砂利(砕石)	フーチング各外面より+150	・60 ・150

コンクリートの仕様
※ 無筋コンクリートによる
・ ()

(4.6.3)

セメントの種類
・高炉セメントB種
・ ()

(6.3.2)

厚さ、幅及び使用範囲

部 位	幅(mm)	厚さ(mm)
基 礎	フーチング各外面より+100	※ 50 ・ ()
地中ばり	フーチング各外面より+100	※ 50 ・ ()

施工範囲
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ベッド下を除く)
・ ()

(4.6.4)

材料
・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
・ ()

防湿層の位置
・ 図示による
・ ()

(4.6.5)

鉄筋の種類

種類の記号	呼び名(mm)	備考			
・SD295	・D10	・D13	・D16	・ ()	
・SD345	・D10	・D13	・D16	・ ()	
・					
・					

形状等

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

継手方法等

部 位	継手方法	呼び名(mm)
柱、梁の主筋	※ ガス圧接	・機械式継手
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手	・
その他の鉄筋()	※ 重ね継手	・

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
※ 図示による

(5.3.4)

継手位置図
※ 図示による

鉄筋の定着方法
※ 図示による

(5.3.4)

鉄筋の定着長さ
※ 図示による
・ ()

(5.3.4)

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)
※ 図示による
・ ()

(5.3.5)

柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・有り
適用箇所 ()
最小かぶり厚さ
・鉄筋径の1.5倍以上
・ ()
・無し

軽量コンクリートで土に接する部分
・無し
・有り
適用箇所 ()
・ 図示による
・ ()

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・無し
・有り
適用箇所 ()
・ 図示による
・ ()

鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く)
・ 図示による
・ ()

(5.3.5)

(図5.3.6)

・機械式継手
使用箇所
※ 図示による
・ ()
性能(H12建告第1463号に適合するもの)
・A級
・ ()
機械式継手の種類
鉄筋相互のあき
・ 図示による
・ ()
品質の確認方法
・ 図示による
・ ()
不良となった継手の修正方法等
・ 図示による
・ ()

(5.5.2)

(5.5.2)

(5.5.2)

(5.3.5)

(5.5.5)

(5.5.6)

・溶接継手
使用箇所
※ 図示による
・ ()
性能(H12建告第1463号に適合するもの)
・A級
・ ()
溶接継手の工法
鉄筋相互のあき
※ 図示による
・ ()
品質の確認方法
※ 図示による
・ ()
不良となった継手の修正方法等
※ 図示による
・ ()

(5.6.3)

(5.6.3)

(5.6.3)

(5.6.5)

(5.6.6)

福 島 県 建 築 関 係 工 事 特 記 仕 様 書

福島県双葉町
電話0240-33-2111 FAX0240-33-2215
住所 福島県双葉町大字長塚字町西73-4

設計年：令和8年7月

建築士事務所名

アーキシップ・鈴木弘人設計業務共同企業体

設計者氏名

一級建築士 第112708号 飯田善彦 印

工事名称

双葉町立新校（仮称）建設工事

図面番号

A002b

図面名称

建築関係工事特記仕様書-1

 福島県建築関係工事特記仕様書	福島県双葉町 電話0240-33-2111 FAX0240-33-2215 住所 福島県双葉町大字長塚字町西73-4		建築士事務所名	アーキシップ・鈴木弘人設計業務共同企業体	工事名称	双葉町立新校（仮称）建設工事	
	設計年：令和8年7月		設計者氏名	一級建築士 第112708号 飯田善彦 印	図面名称	建築関係工事特記仕様書 -3	図面番号 A002d

⑧

タイル工事

①伸縮調整目地及びひび割れ勝発目地

2セメントモルタルによるタイル張り

③有機系接着剤によるタイル張り

4階段滑り止め

位置※標仕表11.1.1による・図示による(11.1.3)(表11.1.1)

タイルの形状、寸法等(11.2.2～7)

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り・行う※行わない
見本焼き・行う※行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理・MCR工法・目荒し工法(高圧洗浄)・()
壁タイル張りの工法
内外装タイル・密着張り・改良圧着張り
ユニットタイル(内装タイル以外)・マス目張り・モザイクタイル張り
既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

タイルの形状、寸法等(11.3.2～6)

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り・行う※行わない
見本焼き・行う※行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量※F☆☆☆☆・()
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地※ポリウレタン系シーリング材・()
ひび割れ勝発目地※ポリウレタン系シーリング材・()
伸縮調整目地※変成シリコン系シーリング材・()
その他の目地※変成シリコン系シーリング材・()
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理・MCR工法・目荒し工法(高圧洗浄)・()
※磁器製()・()

⑨

木工事

③造作用単板積層材

④直交集成板

⑤合板等

⑥接着剤

⑦防霉・防蟻・防虫

8不燃処理木材等

JAS0701(単板積層材)に規定する造作用単板積層材(12.2.1(4))

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

直交集成板(12.2.1(5))

下地用合板・普通合板(12.2.1(6))

・構造用合板

化粧びり構造用合板

天然木化粧合板

特殊加工化粧合板

パーティクルボード

構造用パネル

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ホルムアルデヒドの放散量※F☆☆☆☆・() (12.2.2(3)～(4))

・防霉、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
適用部位() (12.3.1～2)
・薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理
適用部位
保存処理性能区分
・薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理
適用部位
処理の方法
・ボード原料接着材への薬剤混入による防霉、防蟻処理
適用部位()
・防虫処理
適用部位()
・不燃材料()
・準不燃材料()
・難燃材料()

10

木造工事

4大断面集成材

5接合金物等の材質

6製作精度

7表面仕上げ

8アンカーボルト

9柱底均し仕上げ

10普通ボルト

11ボルト孔

12ラグスクリー

13ドリフトピン

14ジベル

15錆止め塗装

16亜鉛めっき

17防火被覆材

18防火被覆処理

⑪

屋根及びとい工事

大断面集成材の品質等
強度等級は、次による
構成するひき板の品質等による区分
・対象異等級集成材
・非対称異等級集成材
・国土交通大臣が認定したもの
断面の品質※2種・3種
接着性能・使用環境1・使用環境2
樹種・べいまつ・からまつ・すぎ・()・()
鋼材の材質
※SS400・SN400A・()・()
※精度基準は次による

部位等

短辺

長辺

材長

断面直角精度

製作図寸法の±1.5mm以内

製作図寸法の±1.5mm以内、かつ、±5mm以内

工作図寸法の±5mm以内

直角とのひずみ±1/100mm

仕上げの程度・A種※B種

材質※SS400・()
寸法※図示・()
アンカーボルトの保持及び埋込み工法・A種※B種・C種

柱底均しモルタルの厚さ※30mm程度・()
柱底均しモルタルの工法・A種※B種

普通ボルトの材料等
ボルトに用いる座金の寸法及び厚さ
※図示及び(集:第2編 表12-2.4.6)による。
ボルトが受ける応力の種類
※図示による。

ボルト孔の径
※[集:第2編 表12-2.4.7]及び[集:第2編 表12-2.4.8]による。
・集成材の場合()
・集成金物の場合()

ラグスクリー

ドリフトピンの形状、寸法等※図示・()

ジベルの種類及び材質
ジベルの形状、寸法等※図示・()

錆止め塗装による防蟻処理を行う構造金物及び接合具等
※見え掛かりとなるすべての構造金物及び接合具等
錆止め塗装の種類・A種※B種

亜鉛めっきによる防蟻処理を行う材料等
※すべての構造金物及び接合具等
・()
亜鉛めっきの種類※HDZT77・HDZT63・HDZT49

防火被覆材・厚さ25mm以上の木材・厚さ15mm以上の強化せっこうボード
・厚さ12mm以上のけい酸カルシウム板・()

ボルト、ドリフトピン等の防火被覆処理・行う・行わない

①長尺金属板葺

2折板葺

③とい

施工箇所

板及びコイルの種類

塗膜の耐久性の種類

めっき付着量

厚さ

屋根葺き形式

備考

2F屋根面

※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)
○チタン亜鉛合金

下葺材料
・アスファルトルーフィング 940
○改質アスファルトルーフィング下葺材
(・一般タイプ○粘着層付タイプ)
雪止め※設置する(図示)・設置しない

材料※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)
・()
断熱材・有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間)
・無し

この材種

種別

材種

径

施工箇所

備考

たてどい

○硬質ポリ塩化ビニル管
○配管用鋼管
・ステンレス鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管 □G

75

100

雨水排水図による

軒どい

・()

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆・()
鋼管製といの防露巻き○適用する(工法:※標仕 表13.5.4による・)
・適用しない
とい受金物※ステンレス製・鋼製(亜鉛めっき) (13.5.2)(表13.5.2)

ルーフトレン

種別

施工箇所

○ろく屋根用(○縦型・横型)

1Fおよび2F屋根面

・バルコニー用

・バルコニー中継用

福島県建築関係工事特記仕様書

福島県双葉町
電話0240-33-2111 FAX0240-33-2215
住所 福島県双葉町大字長塚字町西73-4

設計年: 令和8年7月

建築士事務所名
アーキシップ・鈴木弘人設計業務共同企業体

設計者氏名
一級建築士 第112708号 飯田善彦 印

工事名称
双葉町立新校(仮称)建設工事

図面番号
A002e

⑫

金属工事

①

あと施工アンカーの確固試験

②

鉄鋼の亜鉛めっき

③

軽量鉄骨天井下地

④

軽量鉄骨壁下地

⑤

金属成形板張り

6

アルミニウム製笠木

⑬

左官工事

1

仕上塗材仕上げ

2

ALCパネルの場合の下地処理

3

マスチック塗料塗り

④

ロックウール吹付け

①

アルミニウム製建具

②

網戸等

③

樹脂製建具

④

鋼製建具

⑤

鋼製軽量建具

⑥

ステンレス製建具

⑦

木製建具

⑧

建具用金物

⑨

鍵箱

⑩

自動ドア開閉機構

11

自閉式上吊り引戸装置

⑫

重量シャッター

13

軽量シャッター

標準型建具

・マスターキー ※製作する (※新規・既存にあわせる) ・製作しない

※シリンダー箱錠

※レバーハンドル

※ドアクローザー

標準型建具以外の建具

・マスターキー ※製作する (※新規・既存にあわせる) ・製作しない

※シリンダー箱錠

※レバーハンドル

・握り玉

・本締り錠

・空錠

※レバーハンドル

・握り玉

○グレモン錠

○点検口錠 (平面ハンドル錠)

・非常錠

・ ()

○ピボットヒンジ

○フロアヒンジ

・ヒンジクローザー (丁番形)

・ヒンジクローザー (ピボット形)

○ドアクローザー

○閉鎖順位調整器

○押棒、押板

・アームストッパー

○クレセント

・排煙オペレーター

・レール

○ケースハンドル

形式

・30本 (個) ○120本 (3 個)

・60本 (個) ・ () 本 (個)

鋼製既製品とし、監督員の承諾による。

形式

・30本 (個) ○120本 (3 個)

・60本 (個) ・ () 本 (個)

鋼製既製品とし、監督員の承諾による。

性能

※ 横仕 表16.10.1による

(16.10.2～3) (表16.10.1)

(16.11.2～4) (表16.11.1)

種類

シャッターケース

耐風圧強度 (Pa)

開閉形式

備考

・一般重量シャッター

・設置する

・1600

※電動式 (手動併用)

・外壁用防火シャッター

※設置する

○手動式

※ 危害防止機構

※ 障害物感知装置 (自動閉鎖型)

・シャッターの二段降下方式

電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所

・図示

電動シャッターの障害物感知装置の設置箇所

図示

屋内防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所

○図示

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類

○JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)

JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板)

めっきの付着量

※ Z12又はF12

電動式の場合の電源

※ 三相200V0. 75kw以下 (過電流保護装置付)

()

工事範囲

一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

(16.12.2～4)

スラットの材質

JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板)

※ Z06又はF06

JIS G 3322 (溶融亜鉛55%アルミニウム

～亜鉛合金めっき鋼板)

AZ90

スラットの形状

ガイドレール・座金

※ インターロック形

※ ステンレス (SUS304)

・オーバーラッピング形

・溶融亜鉛めっき鋼板

電動式の場合の安全装置

急降下停止装置

・設置する (・図示による ()) ・設置しない

※ 障害物感知装置 (自動閉鎖型)

電源

※ 単相 100V (過電流保護装置付)

・ ()

工事範囲

一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

[illegible]

18	ユニット及びその他工事	①	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材 (20.2.2)	構法 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重(N) 帯電防止性能 漏えい抵抗 表面仕上げ材 床パネルの材質 構造材の材質 配線用取り出しパネル 配線取り出し開口 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ローリングロート性能	○パネル構法 ・ 滑構法 ・ 450角以上600角以下 ○300 ○400 (床版から仕上材天端までの寸法) ・ 1. 0G ・ 0. 6G ○3000 ・ 5000 ・ 0. 6以上 ・1. 2以上 ・ () ○タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル ○ウッドコアスチールコアフロア ・ アルミ合金ダイカスト製、スチール製又は複合材等 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 (仕上げ:) フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ○20～30% ・ パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上 ・ 図示による ・ なし ○あり (形式、施工箇所:図示による) ・ 適用しない ・ 適用する (適用室:)						
		②	可動間仕切	構造形式 ・ スタッド式(内蔵) ・ スタッド式(露出) ○パネル式 ・ スタッドパネル式	構成基材の種類 スタッド パネル 木質系 スチール系 ガラス系 アルミニウム合金系	総厚さ(mm) 遮音性 (db)	(20.2.3)					
		③	移動間仕切	表面仕上げ材 材質 厚さ(mm) パネル表面仕上げ	メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・ 壁紙張り		(20.2.4)					
				パネル内に取り付ける建具	○あり(※図示による)	・ なし	(20.2.4)					
				操作方法 圧縮装置 操作方法 総厚さ(mm)	表面仕上げ材 材質 パネル表面仕上 遮音性 (db/500Hz)	○手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	○プッシュ式 ・ ハンドル式	○60程度 ・ 100程度	○鋼板	※ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	○36未満 ・ 36以上	
		④	トイレブース	表面材の種類 ・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	脚部 形状 幅木タイプ	ドアエッジ 形状 材質 標準 R	○アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同等					
		⑤	手すり	材質 ・ タモ ・ ステンレスパイプ ○鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドレール	表面仕上げ ・ クリアラッカー ・ HL ・ EP-G ○ SOP	直径(mm) ・ 35 ・ 45 ○32	備考 ○1段手すり ・ 2段手すり (指づめ防止材共)					
		⑥	階段滑り止め	材質 ○ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り	幅(mm) ※ 35 ・ ()	取付工法 ※接着工法 ・ ()	(※図示による)					
		⑦	床目地枠	床仕上げの異なる箇所には目地枠を入れる。 ・ ステンレス製 □型 (幅40程度 ア1. 5) ○ステンレス製 6×12 ・ 黄銅製 6×12								
		⑧	視覚障害者用床タイル	種類 屋内 ・ 塩化ビニル製 ・ 磁器質タイル ・ レンジコンクリート製 屋外 ○ステンレス製点字紙 ・ ・ ブロックパターンはJIS T 9251による	○ステンレス製点字紙 ・ せっ器質タイル ・ コンクリート製	寸法(mm) ○ 300角	厚さ(mm) ・ 7. 0					
⑨	黒板及びホワイトボード	種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 ○ほうろう白板	取付方法 直付け	形状 ※ 平面 ・ 曲面	備考 アルミニウム製枠、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付き マーキングペン受け付き							
⑩	タラップ	種類 ※ ステンレス製(SUS304) ・ ()	仕上げ ※ 研磨なし ・		備考							
11	煙突ライニング	材料 煙突用成形ライニング材 工法 ・ ()	適用安全使用温度 ・ 400℃ ・ 650℃ ・ ()									
12	ブラインド	形式 開閉方式 スラットの幅	※ 横型ブラインド ※ ギヤ式 ・ コード式 ※ 25 ・ 35	・ 縦型ブラインド ・ 操作棒式 ※ 2本操作コード方式 ・ 80 ・ 100								
⑬	ロールスクリーン(別途工事)	材質 ・ ポリエステル ・ 綿 ・ ガラス繊維	操作方式 ※ チェーン式 ・ プルコード式 ・ 電動式	備考								
14	カーテン	形式 ・ シングル ・ ダブル	片引き 引分け	手引き ひも引き 電動	つまみひだ 箱ひだ、片ひだ プレーンひだ	・ ()						
15	カーテンレール	レール及びブラケットの強さによる区分 レールの材料による区分 仕上げ 形状 フック	※ 10～90 ・ () ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ () ※ アルマイト ・ 角型 ※ 鋼製	・ () ・ () ・ 樹脂製								
⑬	カーテンボックス	材質 ・ アルミニウム製既製品 ○鋼製 ○木製 (※A-012a,b_天井伏図1-2による)	(・ シルバー ・ 着色)									
⑬	コーナービート(壁ボード出隅保護金物)	材質 ・ アルミニウム押出形材差込型 ・ シルバー ○焼付 ・ コーナー保護金物付きジョイントテープ										
⑭	天井見切縁	材質 ○ アルミニウム押出形材 ○ 木材										
⑮	点検口	施工箇所 ※ 仕上表による ・ ()										
⑯	収納・収納家具	合板類 ホルムアルデヒド放出量 ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボード	※ F☆☆☆☆ ・ ()									
⑰	消火器ボックス	※ 既製品 (埋込みタイプ) 材質 仕上 寸法 厚 表示 ※ 鋼製 ・ 焼付塗装 ・ W300×H900程度 ※ 有り ※ 絵・文字表示 ・										
⑱	ステンレス流し台	※ 既製品 ・ 優良住宅部品(セクショナルキッチン) 上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付										
23	コンロ台	※ 既製品 ・ 優良住宅部品(セクショナルキッチン) テーブルトップはステンレス製、バックガード (※ 有り ・ 無し)										
㉔	吊戸棚	※ 既製品 ・ 優良住宅部品(セクショナルキッチン) ※家具図による										
25	水切棚	※ 既製品ステンレス製一般型 ・ ()										
㉒	くつつきマット	材質 ・ ステンレス製ノンスリップ型 (緑金物 : ステンレス製) ○ 硬質アルミニウム製 (緑金物 : 硬質アルミニウム製) ・ 塩化ビニル製またはゴム製 (緑金物 : ステンレス製)										
㉓	旗竿	材質 ・ アルミニウム合金製 ・	形状 ○ テーバー式 ・ 同一断面式	操作方法 ○ ロープ式 ・ ハンドル式	固定方法 ○ 埋込式 ・ ベース式 ・ バンド式	備考						
㉔	旗竿受金物	材質 ※ ステンレス製(SUS304)										
29	フェンス	フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス										
⑳	敷地境界線	・ 花こう岩(文字記号入り) ・ コンクリートブロック製の市販品程度 ○ 金属製(真ちゅう製50角 アンカー共)										
31	止水板	形状 ・ 差込式 ・ 据置式 ・ 壁張り式										
①	排水管	材質 ・ 遠心力鉄筋コンクリート管 (21.2.1)(表21.2.1) ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (※ VP ・ VU ・ RS-VU) ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管										
②	鋼鉄製ふた	鋼鉄製マンホールふた (21.2.1) 種類 適用荷重 備 ・ 水封形 ・ 簡易密閉形(パッキン形) ・ 密閉形(テーパー・パッキン形) ・ 中ふた付き密閉形(テーパー・パッキン形) ・ RS-VU 上記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。 ※ 表面には用途別の標準文字付きとする。	・ T-2用 ・ T-6用 ※ T-20用 ・	・ 有り ・ 無し								
③	グレーチング	(21.2.1) 材質 形式 用途 適用荷重 メインバーピッチ 亜鉛めっき(付着量) 上面形状 ・ 鋼製 ホールふた ※ ステンレス製 ・ 受枠付き、 ※ ボルト固定 ・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 橋ふた ・ U字溝用 ※ T-2用 ※ T-6用 ※ T-14用 ※ T-20用	・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ※ T-20用	・ 細め ・ () ・ 普通目 ※ 細め	・ () ・	・ 凹凸形 ・ () ・ 平形						
④	埋戻し土	※ B種 ・ ()										
①	路床	路床の材料 (22.2.2～3) 種別 盛土 遮断層 凍上抑制層 フィルター層 路床安定処理用 添加材料 試験 砂の粒度試験 路床度の支持力比(CBR)試験 路床締固め度の試験	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75μmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(1号)	・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない	(22.2.5)							
②	路盤	路盤の材料 (22.2.2～3) 種別 盛土 遮断層 凍上抑制層 フィルター層 路床安定処理用 添加材料 試験 砂の粒度試験 路床度の支持力比(CBR)試験 路床締固め度の試験	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75μmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(1号)	・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない	(22.2.5)							
③	アスファルト舗装	路盤の材料 (22.2.2～3) 種別 盛土 遮断層 凍上抑制層 フィルター層 路床安定処理用 添加材料 試験 砂の粒度試験 路床度の支持力比(CBR)試験 路床締固め度の試験	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75μmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(1号)	・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない	(22.2.5)							
④	コンクリート舗装	路盤の材料 (22.2.2～3) 種別 盛土 遮断層 凍上抑制層 フィルター層 路床安定処理用 添加材料 試験 砂の粒度試験 路床度の支持力比(CBR)試験 路床締固め度の試験	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75μmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(1号)	・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない	(22.2.5)							
⑤	ブロック系舗装	路盤の材料 (22.2.2～3) 種別 盛土 遮断層 凍上抑制層 フィルター層 路床安定処理用 添加材料 試験 砂の粒度試験 路床度の支持力比(CBR)試験 路床締固め度の試験	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75μmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(1号)	・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない	(22.2.5)							
⑥	車止め	路盤の材料 (22.2.2～3) 種別 盛土 遮断層 凍上抑制層 フィルター層 路床安定処理用 添加材料 試験 砂の粒度試験 路床度の支持力比(CBR)試験 路床締固め度の試験	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75μmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(1号)	・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない	(22.2.5)							
⑦	区画線等	路盤の材料 (22.2.2～3) 種別 盛土 遮断層 凍上抑制層 フィルター層 路床安定処理用 添加材料 試験 砂の粒度試験 路床度の支持力比(CBR)試験 路床締固め度の試験	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75μmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(1号)	・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない	(22.2.5)							
①	植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度(pH)試験 水溶性塩類(EC)の試験	・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない		(23.1.3)							
②	植栽基盤の整備	土壌改良材 ※ 適用する ・ 適用しない			(23.2.2)							
③	植込み用土	※ 建設発生土の良質土 ・ 客土			(23.2.3)							
④	土壌改良材	・ 適用する (施工範囲 ※ 図示による)			(23.2.3)							
⑤	芝	種類 ※ コウライ芝 ・ ノシバ			(23.4.2)							
⑥	樹木札	図示による										
⑦	枯損樹木などの植替え	※ 引渡し日から1年 ・ ()										
⑧	その他											

工 事 概 要 書

1. 工事名称その他

工事名称	双葉町立新校(仮称)建設工事	建 築 主 (発注者)	福島県双葉郡双葉町長 伊澤史朗	建 設 地 地名地番	福島県双葉郡双葉町大字新山宇東館1番 福島県双葉郡双葉町大字長塚字深谷184番2	主要用途	義務教育学校 幼保連携型認定こども園	工事種別	(新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 模様替 ・ その他)
------	----------------	----------------	-----------------	---------------	---	------	-----------------------	------	------------------------------

2. 敷 地 状 況

敷地面積 50,017.17㎡	都市計画区域 ○内 ・市街化区域 ・市街化調整区域 ○非線引き区域 ・外	用途地域 ○有 (第一種中高層 住居専用地域) ・無	防火地域 ・防 火 ・準防火 ○無 (22条区域)	道路種別幅員 ○前面 町道 前田・長塚線 9.2～12.3m (第42条1項一号道路)	都市計画道路 ○無・計画決定・事業決定 ・名称幅員 ・処置	規制地域の指定 ・騒音規制 ・振動規制 ・その他	その他の許可届出等(根拠法令等・届出・許可番号・年月日)
--------------------	--	--	---	---	--	---	------------------------------

3. 構造・規模面積

		計 画 部 分	計画以外の部分	合 計	棟 別 名	構 造	基礎工法	階 数	建築面積	床 面 積					合計
										1階	2階	階	階	階	
建 築 面 積		9,752.95㎡	0㎡	9,752.95㎡	校舎棟	S造	直接基礎 (独立基礎)	2	9,145.34㎡	6,840.05	1,840.11				8,680.16㎡
延 べ 床 面 積		9,354.45㎡	0㎡	9,354.45㎡	付帯施設A	RC造	直接基礎 (独立基礎)	1	194.49㎡	194.49					194.49㎡
増築予定 ・有 ○無	その他(ピロティ・バルコニー・ドライエリア・屋外階段・ぬれえん・吹抜等)				付帯施設B	RC造	直接基礎 (独立基礎、べた基礎)	1	234.00㎡	228.00					228.00㎡
					付帯施設C	RC造	直接基礎 (布基礎、べた基礎)	1	114.44㎡	114.44					114.44㎡
					付帯施設D	RC造	直接基礎 (布基礎)	1	64.68㎡	137.36					137.36㎡
									㎡						㎡
									㎡						㎡
								計	9,752.95㎡					計	9,354.45㎡

4. 法 規 制 概 要

項 目		計画実施概要	規制概要	備考 (参照図面等)	項 目	計画実施概要	規制概要	備 考 (参照図面等)	項 目	計画実施概要	規制概要	備 考 (参照図面等)			
一般事項	建ぺい率		19.50%	60%	防火規制	屋 根		耐火構造	耐火建築物	消防規制	消火器具	図示	歩行距離20m以内に設置		
	容 積 率		17.95%	200%		延焼のおそれのある部分	外壁 (軒裏)	無し	防火構造		屋内消火栓設備	図示	一号消火栓 水平距離25m以下		
	斜線制限	道路		勾配1.5			開口部	無し	防火設備		自動火災報知設備	1警戒区域≦600㎡ 1辺の長さ≦50m	1警戒区域≦600㎡ 1辺の長さ≦50m		
		隣地		20m＋勾配1.25			防火区画	位置	図示		・面積区画(1500㎡) ・異種用途区画	誘導灯	避難口誘導灯 通路誘導灯	避難口誘導灯 通路誘導灯	
	北 側 (日影規制)	－	制限なし	構造		耐火構造		耐火構造							
		区画部の外 壁	スパンドレル 900mm 耐火構造	スパンドレル 900mm 耐火構造											
	最 高 の 高 さ		12.85m	－		貫通部の処理	防火ダンパー及び 隙間を不燃材料で埋める	防火ダンパー及び 隙間を不燃材料で埋める		防火上主要な間仕切り壁 (114条区画)	教室同士/教室と廊下 耐火構造	教室同士/教室と廊下 耐火構造	仕様は別紙		
	最高の軒の高さ		12.45m	－		開口部に設けられる防火設備(開口部設備)	常時閉鎖式特定防火設備 随時閉鎖式特定防火設備 随時閉鎖式防火シャッター	・一号特定防火設備(面積区画) ・二号特定防火設備(異種用途区画)	告示第1369号	建築物衛生法 (ビル管法)	建築物環境衛生管理基準 を満たす	建築物環境衛生管理基準 を満たす			
	床 高	設計GL+0.3m (1FL=TP+29.0)	－			開口部設備 とその位置	煙感知式	温感知式又は煙感知式							
	地域・規模等による構造 (耐火・準耐火)		耐火	耐火または準耐火		内装制限	あり	無窓居室 避難経路	該当居室は仕上表に記載						
一般構造及び設備規制	階 段	幅員 (踊場)	140cm以上で計画	140cm以上	避難規制	廊 下 の 幅 員		両側居室:2.3m以上 その他:1.8m以上	両側居室:2.3m以上 その他:1.8m以上	その他					
		蹴上・踏面	16cm以下・26cm以上	16cm以下・26cm以上		階段の数及び種類		屋内直通階段2か所 屋外直通階段1か所	2以上の直通階段		その他の屋外階段3か所				
		手摺高	80cm	－		階段までの歩行距離		60m以下	50m(60m)		居室、廊下、階段その他の通路の 壁及び天井の仕上げを準不燃とする				
	屋上広場等の手摺高 (バルコニー含)		120cm	110cm以上		排 煙	不要	義務教育学校:不要 認定こども園:必要	告示第1436号の四号の二 緩和措置使用						
	有効採光面積		居室床面積×1/5以上	居室床面積×1/5以上		非 常 用 照 明	全館設置	義務教育学校:不要 認定こども園:必要							
	居 室 の 換 気		機械換気			非常用の進入口		非該当	31m以下の3階 以上の階に設置						
	避 雷 針		無し	高さ20mを超える 建築物には設置		敷地内避難通路		1.5m以上確保	幅員1.5m						
	便所・浄化槽		浄化槽無し			非常出口の解錠方法 及 び 表 示		・屋内からの解錠 ・パニックオープン(自動トア)	屋内から解錠可能とし 解錠方法を表示						



福 島 県

設計者

アーキシップ・鈴木弘人設計業務共同企業体

工事名称

双葉町立新校（仮称）建設工事

図面名称

工事概要書 No.1

設計年月

2026.7

図面番号
No.
A003a

5. 工事範囲

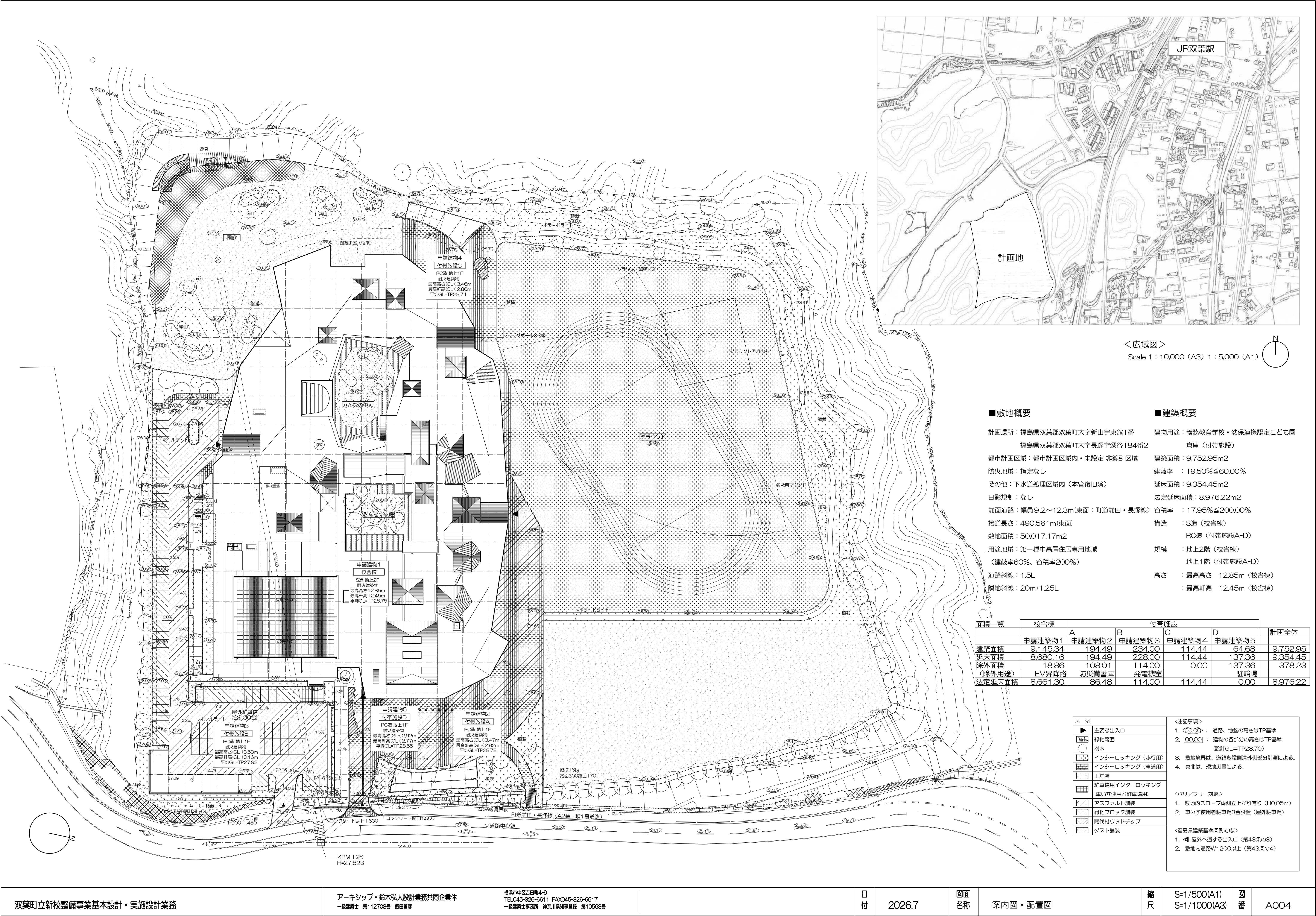
（○印をつけたものが該当する。）

種 別		有		無	備 考
		含む	別途		
電 気	電灯・コンセント	○			
	非常照明・誘導灯	○			
	動力	○			
	変 電	○			
	蓄 電 池	○			
	発電	○			
	構内情報通信網	○	◎		空配管は一次側、配線、機器本体は別途
	構内交換・電話	○	◎		空配管は一次側、電話機本体は別途
	情報 表 示	○	◎		空配管は一次側、サインージ本体は別途
	映 像・音 響	○	◎		電源供給・空配管は一次側 AV機器本体、配線は別途
	拡 声	○			
	誘 導 支 援	○			
	呼 出 し			○	
	住 宅 情 報			○	
	テレビ・FM共同受信	○	◎		空配管は一次側、テレビ本体は別途
	テレビ電波障害防除			○	
	電動ブラインド	○			
	電動スクリーン	○			
	監視カメラ	○			
	舞台機構（美術バトン）	○			
	入退出管理	○	◎		空配管は一次側、配線、本体は別途
	火災報知設備	○			
	電気自動車充電設備	○			
	内部雷保護	○			
	照明制御	○			
給 排 水	衛生器具	○			
	給 水	○			
	排 水・通 気	○			
	給 湯	○			
	厨 房 機 器	○			
	消 火 設 備	○			
	消 火 器	○			
	浄 化 槽			○	
	ガ ス	○			
空 気 調 和	空 気 調 和	○			
	暖 房	○			
	冷 房	○			
	換 気	○			
	自 動 制 御	○			
昇 降 機	エレベーター	○			
	小荷物専用昇降機			○	
	エスカレーター			○	
備 品 等					
	非常用救助袋			○	
	造 付 家 具	○			
	移 動 家 具		○		
	カーテン類		○		
	カーベット類	○			
	マ ッ ト 類	○			
	郵便受	○			
	サ イ ン	○			
	表示板文字	○			
	掲 示 板	○			
	装 飾 物			○	
	可 動 間 仕 切	○			
	その他の備品				
	ホワイトボード	○			
	運動施設器具類		○		
	ロールスクリーン		○		
外 構	造 園・植 栽	○			
	門			○	
	塀	○			
	外 灯	○			
	屋 外 排 水	○			
	駐 車 場	○			
	敷 地 整 地	○			
	擁 壁	○			
	その他の構内施設	○			付帯施設A～D
	遊 具	○			
	サ イ ン	○			
そ の 他	道 路 補 償			○	
	解体工事		○		
	移 転 工 事		○		
	プロジェクト設備工事	○	◎		空配管は一次側、配線、本体は別途
	機械警備システム	○	◎		空配管は一次側、配線、本体は別途
	図書館システム	○	◎		空配管は一次側、配線、本体は別途
	セキュリティシステム	○	◎		空配管は一次側、配線、本体は別途

6. 建築・電気
機械各工事の
分担区分表

（※適用欄○印が該当する。）

工事項目	適用	工事区分	建築	空調	衛生	電気	昇降機	備 考
一般事項	○	工事内容						
		工事用仮設電力・上下水・ガス・電話の確保、および基本料金、従量料金	○	○	○	○		
		電力・上下水・ガス・電話・CATV等 引込負担金	○	○	○	○		
		本設引込後、工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の基本料金	○	○	○	○		
		本設引込後、工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の従量料金	○	○	○	○		
		工事期間中の本設電設備の管理および維持	○	○	○	○		
建築関係	○	機械室等における防音、遮音措置	○					建具、吸音材等
		設備機器の騒音対策および騒音振動伝播抑制		○	○	○		ルーバーは建築工事
		化粧マンホール蓋、ハンドホール蓋	○	○	○	○		化粧蓋、仕上げは建築工事
電気関係	○	舞台ボタン設置	○					
電気設備	○	動力制御盤の設置				○		
		補機盤、機側盤、ユニット盤の設置			○			
		同上 一次側配線				○		
		同上 二次側配線			○			
		インバーター装置		○	○			
		同上 設定および試験調整		○	○	○		
		電動機端子ブルボックス		○	○	○		
		各水槽のフロートスイッチ・電極棒設置および調整			○			
		同上 マンホール型電極保持器			○			
		同上 動力制御盤までの配管配線			○			
電気設備	○	構内情報通信網設備の空配管				○		機器取付と配線は別途工事
		構内交換設置及び配管配線				○		電話機は別途工事
		情報表示の空配管				○		機器取付と配線は別途工事
		映像音響設備の機器設置及び配管配線				○		取付工事が不要なワゴン・モニター・マイク類は別途工事
		テレビ共同受信の配管配線				○		TV機器本体（地デジチューナー付）は別途工事
		入退出管理設備、防犯設備の空配管				○		機器取付と配線は別途工事
		・						
		○ 空調機		○				
		○ 同上 一次側電源供給				○		
		○ 同上 操作スイッチ取付および二次側配線		○				
空調設備	○	同上 電源制御、集中停止制御		○				
		○ パッケージエアコン		○				
		○ 同上 操作スイッチ取付および二次側配線		○				
		○ 屋内機-屋外機間電源および制御線渡り配線		○				
		○ 空調換気扇		○				
		○ 同上 一次側電源供給				○		
		○ 同上 操作スイッチ取付および二次側配線		○				耐熱工事、連通管、マンホール、タラップ、清掃を含む
		○ 空調機保守用照明（マリンランプ）		○				
		○ 同上 操作スイッチ取付および二次側配線		○				機器アンカー並びに仕上工事は空調
		○ 同上 スイッチ一次側への電源供給				○		〃
空調設備	○	○ 外壁、軒天井部ガラリ		○				切込み補強共（墨出しは空調）
		○ 同上 チャンバー		○				
		○ 同上 防火ダンパー		○				
		○ サッシュ一体型ガラリ、スリット		○				吹出口、点検口を含む
		○ 同上 チャンバーおよび断熱対策、雨水排水		○				100V電源
		○ ドアガラリ		○				
		○ 同上 防火ダンパー		○				
		○ 意匠吹出口（建築工事）に対するチャンバーボックス取付		○				
		○ 防火ダンパー		○				全熱交換形のコントロールスイッチは空調
昇降機設備	○	○ 床排水金物		○				
		○ ルーフドレン（金物のみ）		○				
		○ 雨水縦樋・雨水立管		○				
		○ 同上 屋外第一樋・雨水貯留槽等への接続配管		○				
		○ 屋外雨水樹および配管		○				
		○ 雨水側溝および会所樹		○				
		○ 屋外汚水・雑排水排水樹および配管			○			
		・ 空調設備熱源および空調機等の機器廻りドレン配管			○			
		○ 空調設備熱源および空調機等のドレン受ホッパーおよび排水管への接続			○			
		○ 洗面カウンターおよびカウンター開口・補強		○				
衛生設備	○	○ 同上 洗面器および取付・シール			○			
		○ 化粧鏡			○			
		○ 紙巻器			○			
		○ 大便器 小便器 感知フラッシュバルブ			○			
		○ 同上 電源供給				○		
		○ 洗面化粧台、地流し、シンク		○				衛生陶器は衛生工事、地流し、SUSシンクは建築工事
		○ 多目的便所 手摺			○			
		○ 多目的便所および便所ブース内ベビーシート			○			
		○ 同上 手摺・ベビーシート取付に伴う下地補強		○				
		○ シャワーユニット		○				
衛生設備	○	○ 同上 接続配管			○			
		○ 冷水器			○			
		○ 屋内消火システム・ポンプ等制御盤			○			
		○ 同上 一次側電源供給				○		
		○ 同上 二次側電源供給				○		
		○ 屋内消火栓ボックス				○		
		○ 同上 化粧扉表面仕上げ		○				
		○ 同上 発信機・電鈴・表示灯取付開口				○		
		○ 消火器		○				
		○ 同上 収容ボックス		○				消火栓ボックスー体型は衛生工事
昇降機設備	○	・						
		・						
		○ 機械室・シャフト・ビット駆体		○				機械室軽量コンクリート打設含む
		○ 出入口・インジケーター押釦の穴あけ		○				補強は建築
		○ 機械室床機械据付用穴あけ		○				（墨出しは昇降機）
		○ 機械室内配線ダクト穴あけ		○				（ 〃 は電気）
		○ 機械室内仕上げ及び天井機械吊り上げ用フック		○				
		○ 出入口等取付後の床・壁・天井仕上		○				
		○ 換気設備及び付属電気設備				○		
		○ 電源引込				○		
昇降機設備	○	○ 接地工事				○		
		○ BGM用配線引込工事				○		
		○ 機械室ビット内コンセント工事				○		
		○ エレベーター監視盤製作及び据付					○	
		○ 昇降路がS造の中間ビームブラケット受けベース		○				
		○ 昇降路がS造の中間ビーム本体及びブラケット受け					○	
		○ シャフト頂部搬入用フック・トロリービーム		○				
		・						
		・						
		・						



＜広域図＞
Scale 1：10,000 (A3) 1：5,000 (A1)

■敷地概要

計画場所：福島県双葉郡双葉町大字新山宇東館1番
福島県双葉郡双葉町大字長塚字深谷184番2
都市計画区域：都市計画区域内・未設定 非線引区域
防火地域：指定なし
その他：下水道処理区域内（本管復旧済）
日影規制：なし
前面道路：幅員9.2～12.3m(東面：町道前田・長塚線)
接道長さ：490.561m(東面)
敷地面積：50,017.17m²
用途地域：第一種中高層住居専用地域
(建蔽率60%、容積率200%)
道路斜線：1.5L
隣地斜線：20m+1.25L

■建築概要

建物用途：義務教育学校・幼保連携認定こども園
倉庫（付帯施設）
建築面積：9,752.95m²
建蔽率：19.50%≤60.00%
延床面積：9,354.45m²
法定延床面積：8,976.22m²
容積率：17.95%≤200.00%
構造：S造（校舎棟）
RC造（付帯施設A-D）
規模：地上2階（校舎棟）
地上1階（付帯施設A-D）
高さ：最高高さ 12.85m（校舎棟）
：最高軒高 12.45m（校舎棟）

面積一覧	校舎棟	付帯施設				
		A	B	C	D	計画全体
申請建築物1	申請建築物2	申請建築物3	申請建築物4	申請建築物5		
建築面積	9,145.34	194.49	234.00	114.44	64.68	9,752.95
延床面積	8,680.16	194.49	228.00	114.44	137.36	9,354.45
除外面積	18.86	108.01	114.00	0.00	137.36	378.23
(除外用途)	EV昇降路	防災備蓄庫	発電機室		駐輪場	
法定延床面積	8,661.30	86.48	114.00	114.44	0.00	8,976.22

凡 例

- ▶ 主要な出入口
- 緑化範囲
- 樹木
- インターロッキング（歩行用）
- インターロッキング（車道用）
- 土舗装
- 駐車場用インターロッキング
- (車いす使用者駐車場用)
- アスファルト舗装
- 緑化ブロック舗装
- 間伐材ウッドチップ
- ダスト舗装

＜注記事項＞

- 道路、地盤の高さはTP基準
- 建物の各部分の高さはTP基準
(設計GL=TP28.70)
- 敷地境界は、道路敷設側溝外側部分計測による。
- 真北は、現地測量による。

バリアフリー対応＞

- 敷地内スロープ両側立上がり有り (H0.05m)
- 車いす使用者駐車場3台設置（屋外駐車場）

＜福島県建築基準条例対応＞

- 屋外へ通ずる出入口（第43条の3）
- 敷地内通路W1200以上（第43条の4）